リリースノート：Dominion® SX II ソフトウェア（バージョン 2.2）

日付:　2017 年 8 月

該当する SXIIモデル:

モデム無モデル: DSX2-4, DSX2-8, DSX2-16, DSX2-32, DSX2-48

モデム内蔵モデル：DSX2-4M, DSX2-8M, DSX2-16M, DSX2-32M,

DCモデル：DSX2-8M-DC, DSX2-32M-DC, DSX2-48M-DC

Dominion SX II の概要

Dominion SX II は、IT 管理者・ネットワーク管理者がいつでも、どこからでも、安全な IP 経由でシリアル機器にアクセスし、制御できるラリタンの次世代シリアルコンソールサーバーです。新しい SX II は市場で最もパワフルかつセキュアで、信頼性も高く、使いやすい Serial-over-IP コンソールサーバーです。

リリース 2.2 の概要

リリース 2.2 は、リリース 2.1 をベースとする主要なリリースで、多くの機能強化を行いました。最新のブラウザとセキュリティアップデートに対応しています。

リリース 2.2 の新機能およびアップデート

- 設定ファイルのダウンロード、編集、アップロード機能をサポート
- リモート認証が利用可能な場合、ローカル認証を無効にするオプションをサポート
- MIBの拡張によりSNMPを用いたパフォーマンス情報取得をサポート
- モデム内蔵モデルで発信者番号確認機能を利用する際に複数の折り返し電話番号を設定する機能をサポート
- 最大 8 台の Syslog サーバーをサポート
- Apple IOS デバイスにおける HTML シリアルクライアント（HSC）をサポート
- セキュリティ強化のためにLDAPサーバ接続の際にstartTLSをサポート
- LAN ポート接続の Cradlepoint 製 AER1600 ブロードバンドモデムをサポート
- Brocade 製ネットワーク機器に接続するための Brocade USB シリアルアダプターをサポート
- モデム内蔵モデルにおいて、工場出荷時状態をモデム有効に変更
- SSH接続におけるメッセージ認証コード（MAC）の利用不可、古い3DES暗号化方式の利用不可、コード署名証明書のアップデート、鍵長4096bitのCSRをCLIから生成可能、OpenSSL v1.0.1p使用、SSLv2／v3サポート終了、TLSv1.0／v1.1／v1.2サポート
- ラリタンとルグランのブランド共通化，その他修正とアップデート

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。 Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

Dominion SXII ドキュメント

Dominion SX IIに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

- **Dominion SX II ユーザマニュアル**および管理者ガイド –SX II のローカルおよびリモート ブラウザベースのユーザーインターフェース、管理者機能、一般的な使用に関する マニュアルです。
- **Dominion SX II クイック セットアップ ガイド** –SX II の初期設定について説明します。

Dominion SX II ドキュメントは、ラリタンの Web サイト（www.raritan.com/jp）から入手いただけます。[サポート]セクションにアクセスし、[マニュアル/ファームウェアなど]の[製品を選択してください]から、Dominion SX IIを選択します。

Dominion SXII オンラインヘルプ

オンラインヘルプをご利用いただけます。SX II Web ベースユーザーインターフェースの情報パネルの左にある[Online Help（オンラインヘルプ）]をクリックすると、オンラインヘルプシステムが起動します。[Contents（目次）]、[Index（索引）]、[Search （検索）]の各タブから、適切なトピックを参照することができます。テキストや画像を含め、Dominion SX II ユーザーガイド完全版を参照いただけます。また、同ガイドには多くのリンクも記載されています。

ラリタン製品のオンラインヘルプは、下記のラリタン Web サイトからもご覧いただけます。

http://www.raritan.com/landing/product-online-help

Dominion SXII シリアルアダプター

Dominion SX II では以下のシリアルアダプターを使用して、 DB9/DB25 ポート搭載のシリアル機器やラリタンのPDU に接続できます。

ASCSDB9F	RJ-45(F) ⇔ DB9(F) シリアルアダプター
ASCSDB9M	RJ-45(F) ⇔ DB9(M) シリアルアダプター
ASCSDB25F	RJ-45(F) TO DB25(F) シリアルアダプター
ASCSDB25M	RJ-45(F) ⇔ DB25(M) シリアルアダプター
CSCSPCS-1	1' Cat5e RJ-45(M) ⇔ RJ-45(F) アダプター（ラリタンの PX または RPC ラック PDU への接続用）
CSCSPCS-10	10' Cat5e RJ-45(M) ⇔ RJ-45(M) ケーブル（ラリタンの PX または RPC ラック PDU への接続用）

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

互換性情報（リリース 2.2）

1. Dominion SX II では、CommandCenter リリース 6.2 以降が必要です。新しい Java 非依存HTML シリアルクライアントを CommandCenter から起動するには、CommandCenter リリース6.2 以降が必要です。

2. CommandCenter リリース5.x および 6.0.x は、Dominion SX II をサポートしていません。

3. SUN Java™ Runtime Environment（JRE）バージョン7 および 8 は、以前のラリタンシリアルクライアントで使用する場合はサポートされます。SX II では、Java バージョン6 はサポートされません。

4. 次の表は、このリリースでのテスト済みの Java 最新バージョンを記載しています。Java に関する問題がございましたら、ラリタンのWeb サイトでSX II およびメインのサポートページをご確認いただくか、ラリタンのテクニカル サポートまでご連絡ください。

JRE	テスト済みの最新のアップデート
Java 7	**Update 141**
Java 8	**Update 141**

Java の使用に関する推奨事項：

- Java プラグインキャッシュを無効にすることをお勧めします。
- セキュリティを最大限にし、Java およびブラウザの警告メッセージを最小限に抑えるために、各SX IIスイッチにそれぞれのSSL証明書をアップロードすることをお勧めします。
- ラリタンの Java アプレットをロードするには、すべてのセキュリティ警告に同意のクリックをする必要があります。
- 上記 JRE バージョン情報は、Dominion SX II をスタンドアロンで使用する場合に適用されます。CC-SGと併せて使用する場合は、CC-SG のリリースノートおよび互換性マトリックス（Compatibility Matrix）を参照してください。

5. SX II に接続したシリアル機器は、以下を経由して、Web ユーザーインターフェースにアクセスすることができます。

リモートクライアント	説明
ラリタンHTML シリアルクライアント (HSC)	新しい非 Java クライアント。Web ブラウザ内で実行。これがデフォルトの シリアルクライアントです。
ラリタンシリアルクライアント (RSC)	以前の Java ベースのクライアントで、ブラウザベースのリモートユーザーインターフェースから実行します。/rsc URL で実行することもできます。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

6. 次の表は、このリリースでのテスト済みのブラウザ最新バージョンを記載しています。ブラウザに互換性のない変更が行われた場合は SX II ファームウェアのアップデートが必要となりますが、SX II は今後のバージョンのブラウザにも対応していく予定です。何か問題がございましたら、ラリタンの Web サイトで SX IIおよびメインのサポートページをご確認いただくか、ラリタンのテクニカルサポートまでご連絡ください。

ブラウザ	テスト済み最新バージョン
Internet Explorer	**11**
Firefox	**54**
Chrome	**60**
Microsoft EDGE	**40**

7. セキュリティ情報。このリリースでは、Openssl バージョン v1.0.1p が使用されています。SX II は、SSLv2または SSLv3 をサポートしていません。最高レベルのセキュリティを実現するため、SX II は TLS のみをサポートしています。サポートされているバージョンは、TLS v1.0、v1.1、v1.2 です。

留意事項および重要な情報（リリース 2.2）

1. **HTML シリアルクライアント（HSC）** 新しいJava 非依存HSC と既存のラリタンシリアルクライアント（RSC）には、いくつかの違いがあります。RSCであまり使用されていないいくつかの機能

   （チャット、キーストロークの送信、ログクライアントセッション）は、HSCでは利用できません。Javaに依存するお気に入りの管理機能は、ラリタンシリアルクライアントの使用時のみ利用可能です。

2. **DTE/DCE 自動検知**。DTE/DCE 自動検知を行うシリアル機器に接続するときは、SX II シリアルポートを強制的に DTE または DCE にすることが必要となる場合があります。これは、[Serial Port Settings（シリアルポ ート設定）]から行うことができます。
3. **デュアル LAN ポート**。SX II の2 つのLAN ポートのデフォルト動作は、それぞれ独立しており、自動フェイルオーバーはされません。自動フェイルオーバーにする場合は、「Network Settings（ネットワーク設定）」ページで設定を変更するか、admin > Config > Network コマンドを使用します。SX II では、LAN1のデフォルトのIP アドレスは192.168.0.192 に設定されており、クロスオーバーケーブルを介して初期設定をサポートしています。
4. **ファクトリリセットボタン**。バックパネルの[Reset Button（リセットボタン）]を使用する際に最善の結果を得るには、下方のUSB スロットからUSB プラグ（ある場合）を取り外します。デバイスのブート中に[Reset Button（リセットボタン）]を押すと、ブザーが鳴ります。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

5. **SX II ローカルポートの拡張**。ラリタンの Cat5 Reach DVI 製品を使用して、データセンターの外から SX II のローカルポートを拡張することが可能です。ラック前アクセスは、SX II の DVI-D およびUSB ポートを使用してラリタン T1700-LED およびT1900-LED ラックマウントキーボードドロワーにより、可能です。

6. **3G/4G ワイヤレスモデム**。現在、Sierra Wireless GX440/GX450/ES450 ブロードバンドモデムは、緊急時のワイヤレスでのアクセス用モデムとしてサポートされています。今後、他のモデムもサポートされる可能性があります。モデムは、USB 接続でSX II に接続されます。お使いのワイヤレスキャリアのSIM カード、およびモデム用の静的 IP アドレスが必要です。モデム設定の指示事項については、 ユーザーガイドまたはオンラインヘルプをご確認ください。
LAN 接続時はCradlepoint AER1600 セルラーモデムもサポートされます。モデムの許可とモデムへのフェイルオ ーバーオプションはLAN ベースのモデムには適用されません。
安全なアクセスのためには、SX II のファイアウォール「iptables」機能を使用するか、モデム自体のファイアウ ォール機能を使用してください。セキュリティを高めるため、デフォルトの「admin」アカウントの名前を変更することをお勧めします。

7. **FIPS 140-2 暗号化モジュール**。FIPS 140-2 モードは、ラリタンシリアルクライアント（RSC）使用時またはラリタンHTML シリアルクライアント（HSC）使用時にサポートされます。ラリタンシリアルクライアントでないもの（例：Putty）ではサポートされません。

8. **電話モデム**。電話モデムを内蔵したモデルについては、SX II 電話モデムがデフォルトで有効になっています。

9. **セキュリティに関する推奨事項**。セッションの暗号化を行わないTelnet ではなく、SSH クライアントをご使用ください。FIPS モードを使用していないときは、暗号モードを AES に設定してください。信頼できる証明機関から SX II にカスタム証明書をインストールします。セキュリティを厳しくするため、接続クライアントのTLS v1.0 を無効にし、TLS v1.2 を使用します。Javaを使用しない新しいHTML シリアルクライアント（HSC）をご利用ください。

10. **RC4、3DES 暗号**。SX II では、これらの脆弱な暗号はサポートされません。「AES」または「Auto（自動）」暗号モードをご使用ください。

11. **自動設定**。セキュリティ上の理由から（認証されていない設定の回避）、SX II 管理者は、USB スティックまたは TFTP 経由での自動設定を最初に有効化しておく必要があります。

12. **ファームウェアのアップグレード**。SX IIファームウェアのアップグレードは、ほかのDominion製品と同様にできます。たとえばWebベースのGUI からなどです。古いSX FTP ベースの方法は、CLIから行うことができます。

13. **距離に関する指示事項**。シリアル接続の信頼性を高めるには、シリアル機器からSX II（Cat5/6 ケーブル）までの距離に関する次の指示事項に従ってください。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

ボーレート	距離（フィート）
2,400	300
4,800	200
9,600	100
19,200	50
38,400	25
57,600	16
115,200	8
230,400	4

ファームウェアのアップグレード

ラリタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含む、ファームウェアのアップグレードリリースをご提供しています。アップグレードは、 ラリタンの Web サイト（www.raritan.com/jp）から入手いただけます。[サポート]セクションにアクセスし、[マニュアル/ファームウェアなど]の[製品を選択してください]から、[Dominion SX II]を選択します。

新しいファームウェアリリースがあるかどうか確認します。リリースノートもご用意していますので、ご確認ください。リリースノートには、（a）新機能/強化点に関する概要説明、（b）重要なオペレーション上の指示事項、（c）ファームウェアアップグレードに関する指示事項が記載されています。デバイスをアップグレードする際は、リリースノートの指示に従ってください。なお、ファームウェアのアップグレードに FTPサーバーは不要になりました。この方法は引き続きCLI からご使用いただけます。

ファームウェアのアップグレードの前提条件

何か問題がある場合、または下記の前提条件を満たさない場合は、アップグレードを中止し、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。アップグレードを行う前に、指示事項すべて（本ドキュメント）をお読みください。

アップグレードに関する一般的な指示事項（Web ベースのユーザーインターフェース）

1. 注：ファームウェアのアップグレードを適用する前に、SX II デバイスをリブートしてください。リブートにより、ユーザーがログインしていないこと、またはセッションがアクティブでないことを必ずご確認ください。
2. SX II デバイスをアップグレードするユーザーは、Default Admin（管理者）グループのメンバーで、アップグレードに十分な権限を持っている必要があります。
3. アップデートの完了には、最大20分かかります。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

4. アップグレードを開始する前に、[Maintenance（保守）]メニューの[Backup/Restore（バックアップ/復元）]機能を使用して、SX II をバックアップすることをお勧めします。
5. Dominion SX II ユニットに接続されているすべてのデバイス（サーバー、ケーブルタップ、シリアル機器）について、リモートまたはローカルのSX II セッションを終了してください。
6. VPN 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合は、接続が安定しており、非アクティブ時のタイムアウトがオフになっていることを確認してください。
7. アップグレードの実行に関する詳しい説明は、下記を参照してください。
8. ソフトウェアのアップグレードはフラッシュメモリに書き込まれ、完了まで時間がかかります。アップグレードの進行中は、ユニットの電源をオフにしたり、イーサネット接続を切断したりしないでください。
9. SX II ファームウェアは、CC-SG によってもアップグレードすることができます。そのほかの情報については、CC-SG ドキュメントを参照してください。
10. アップグレードがうまくいかない場合は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

段階的なアップグレードに関する指示事項

1. 注 : 最善の結果を得るため、ファームウェアのアップグレードを適用する前に、SX II デバイスをリブートしてください。リブートにより、ユーザーがログインしていないこと、またはセッションがアクティブでないことを必ずご確認ください。
2. Internet Explorer（またはそのほかのサポート対象Web ブラウザ）では、ご使用のDominion SX II ユニットの IP アドレスを入力し、Webベースのインターフェースのロードが完了するまでお待ちください。
3. 管理者ユーザー「admin（管理者）」（またはAdmin グループのほかのメンバー）としてログインします。
4. [Maintenance（保守）]メニューで[Firmware Upgrade（ファームウェアのアップグレード）]コマンドをクリックします。
5. ブラウズしてアップデートを含む.rfp ファイルを探します。[Upload（アップロード）]ボタンをクリックします。現在のバージョンと新しいバー ジョンが表示されます。[Upgrade（アップグレード）]ボタンをクリックしてアップグレードを開始してください。
6. ファームウェアのアップグレードが実行されます。
   a) アップグレード中は、SX II を操作することはできません。
   b) アップグレードパネルに、アップグレードの進行状況が表示されます。このアップグレード手順には、最大15分かかります。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。

アップグレード中またはリブート中は、SX IIのリブートまたは電源の入れ直しは絶対にしないでください！

c）アップグレードが完了すると、完了メッセージが表示されます。

7. デバイスをリブートおよびリセットします。これには、5 分程度かかることがあります。
8. リブートが完了したら、Web ブラウザのセッションを終了し、再度ログインしてください。
9. SX II では、アップグレードが完了するとブザー音がなり、ログイン画面がローカルコンソールポートに表示されます。
10. Web ブラウザ、CLI、またはローカルポートから、再度ログインしてください。[Maintenance（保守）]メニューの[Upgrade History（アップグレード履歴）]レポートを使用して、アップグレード状況を確認します。
11. アップデート時にご質問事項または問題が生じた場合は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュ メントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。
Copyright ©2017 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc.の商標または登録商標です。All rights reserved. SolarisおよびJavaはOracle, Inc.の商標、Windows、Windows Vista、.NetはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。 Apple、Mac、Safari、iPad、iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。